

## 第6学年3組 算数科学習指導案

令和 7年 6月 5日 (木) 第4時限 場所 6年3組教室

1 単元 分数×分数 (本時 10/12)

2 本時の目標

逆数の意味を理解し、分数、整数、小数の逆数を求めることができる。 (知識・技能)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (3)	<p>1 既習事項を使い、計算をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分数×分数は、分母同士、分子同士をかければよかったよね。</li> <li>あれっ、分数×分数で整数になったよ。</li> <li>整数が出てきてもいいんだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を想起させ、既習事項を使って、計算するように指示する。</li> <li>計算の材料となる分数を貼付する。</li> <li>分数×分数の答えが整数になることもあることに気付かせ、本時につなげる。</li> </ul>
課題 (1)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">積が1になるときのきまりを見つけよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題を板書する。</li> </ul>
展開 (25)	<p>3 <u>分数の積が1になる数字はどれかを考える。(丸自)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さっきと同じで分母同士と分子同士をかけると計算ができるね。</li> <li>約分もしないといけないよ。</li> <li>分母と分子の数字がひっくり返っていると1になりそう。</li> <li>でもこれって、違う数字になってもできるのかな。</li> <li>逆の数を探せばいいんだね。</li> <li>逆数って、分母と分子を入れ替えた数だね。</li> </ul> <p>4 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2</span>の設問を解き、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1</span>で考えたことを使うことができるか考える。。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整数も小数も分数に直すことができるよ。</li> <li><math>3 = \frac{3}{1}</math>だし、<math>0.3</math>は<math>\frac{3}{10}</math>と言えるね。</li> </ul> <p>5 練習問題に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さっき習った逆数が使えるね。</li> <li>分母と分子に気を付けないと。</li> </ul>	<p>発問「貼ってあるカードの中から2つ選んでかけたとき、積が1になるのはどれとどれでしょう。その理由も書きましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><math>\frac{2}{3}</math>、<math>\frac{3}{8}</math>、<math>\frac{1}{2}</math>、<math>\frac{3}{2}</math>、<math>\frac{8}{3}</math>のカードを貼付する。</li> <li>見つけるだけではなく、本時の課題に立ち返り、きまりや定義に迫ることが大切であることを伝える。</li> <li>「逆数」という用語と意味を児童の意見をもとに説明・板書し、押さえられるようにする。</li> <li>自分の言葉でまとめられている児童を称賛する。</li> <li>「どんなときに積が1になると言えるかな。」「どんなときでもそう言えるかな。」</li> <li>手が止まっている児童に対して、「積が1になるにはどんなきまりがあったかな。」と問い、ファシリテートする。</li> <li>手が止まっている児童には、「逆数ってどんなきまりだった」と問い返し、支援する。</li> </ul>
終末 (10)	<p>6 <u>積が1になる分数のきまりをまとめよう(花丸自)</u></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>積を1にするには、その分数の逆数とかければよいことが分かった。</li> <li>分数の逆数は、分子と分母を入れ替えたものであることが分かった。</li> <li>整数や小数は、一度分数に直してから逆数を考えると計算や説明がしやすい。</li> </ul> </div> <p>7 本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>逆数を知ったので、もっと計算したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発問「今日習ったことを生かして、積が1になるかけ算のきまりを書こう。」</li> <li>練習問題で気付いたことや分かったことをもとに意見を書くように伝える。</li> <li>書けた児童は、オリジナル問題作成に取り組み、チーム内で問題を出し合うよう指示する。</li> <li>振り返りの時間を確保し、本時の学習状況を把握する。</li> <li>机間指導をし、数名意図的指名をする。</li> </ul>

4 評価

- 積が1になる数を見つけ、そうなる理由について考える活動を通して、逆数の意味を理解して正しく計算することができたか。 (活動3, 4, 5, 6のノート・発言・振り返りから)